

一般財団法人地域活性化センター シニアフェロー

金丸 弘美

食環境ジャーナリスト



<略歴>

1952年佐賀県唐津市生まれ。食環境ジャーナリスト。食総合プロデューサー。

執筆活動のほか、食の総合プロデューサーとして、食育と地域づくりを連携させた食のワークショップのプランニングから、プロモーション、ツアーへの展開といった食のアドバイザー事業、また学校を対象とした、公開授業、大学から幼稚園まで各学校での食の講師なども手がける。

食の調査からテキスト化を行いブランディングし、またワークショップで食べ方を提案、プロモーションにつなぐ活動は大きな評価を受けている。これまで各地で開催されている。

執筆活動のテーマは、食からの地域再生、地域力創造と活性化、食育と味覚ワークショップ、地域デザイン、環境問題と持続社会、高齢者の生きがい。

農業、食材に関しては北海道から沖縄まで全国の農村や町など1000ヶ所を巡る。また子供たちの食べ物が大切と考え、秋田から沖縄まで、全国50箇所の学校給食を取材した。

現在、

総務省地域力創造アドバイザー。

内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師。

学校給食等地場食材利用拡大委員会委員（農水省）。

（一財）地域活性化センターシニアフェロー。

日本ペンクラブ環境委員会副委員長。

特定非営利活動法人発酵文化推進機構特任研究員。

発酵食品ソムリエ

エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議アドバイザー。

明治大学農学部食料環境政策学科「食文化と農業ビジネス」兼任講師。

フェリス女学院大学国際交流学部専門科目「地域と食文化」非常勤講師。

ライターズネットワーク相談役。

高知県観光特使。

食の至宝 雪国やまがた伝統野菜PR大使（山形県）。

香川県さぬきうまいもんプロジェクト実行委員会委員。

著書に

『ゆらしい島のスローライフ』(学研教育出版)、

『メダカが田んぼに帰った日』(学研教育出版)、

『えんや! 写真集・唐津くんち』(写真:英伸三 家の光協会)

『こんな scene で贈り物』(絵・平野恵理子 福武書店)

『こんなシーンでウエディングベル』(絵・平野恵理子 ベネッセコーポレーション)

『本物を伝える 日本のスローフード』(岩波書店)、

『まともな食べ物が食べたい!』(ダイヤモンド社)、

『スーパーラット 都市の野獣クマネズミの恐怖』(徳間書店)、

『田舎力 ヒト・物・カネが集まる5つの法則』(NHK 生活人新書)、

『実践! 田舎力ー小さくても経済が回る5つの方法』(NHK 新書)、

『創造的な食育ワークショップ』(岩波書店)、

「給食で育つ賢い子ども 全国おいしい学校給食マップ」(ソトコト新書)、

『幸福な田舎のつくりかた:地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす』(学芸出版)

『美味しい田舎のつくりかた:地域の味が、人をつなぎ、小さな経済を耕す』(学芸出版)、

『里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える』(角川新書)、

「田舎の力が 未来をつくる!:ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革」(合同出版)、

『食にまつわる55の不都合な真実』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、

『地域の 食をブランドにする!食のテキストをつくろう!』(岩波書店)

など多数。

著書 37 冊、共著・企画・編集を手掛けた本に 32 冊がある。

<得意とする分野>

食による地域づくり。地域プロモーション。

食の総合プロデューサーとして、食育と地域づくりを連携させた食のワークショップのプランニングから、プロモーション、ツアーへの展開といった食のアドバイザー事業を手がける。食の調査からテキスト化を行いブランディングし、ワークショップで食べ方を提案。現場を取材してメディアに発信、出版につなぐ活動は大きな評価を受けている。

<自治体等との連携実績等>

・新潟県佐渡市(佐渡ヶ島)食のワークショップツアー(2004年)

- ・大分県食育事業アドバイザー(2006年4月～2008年3月)、
- ・佐賀県「唐津玄海食のプロジェクト」(2006年9月～2007年3月)、
- ・長崎県平戸市観光人材育成協議会地域活性化事業アドバイザー(2006年3月～2009年3月)
- ・岐阜県高山市「宿讎かぼちゃ」ブランド化支援事業(2008年～2011年)
- ・総務省地域力創造アドバイザー事業における茨城県常陸太田市での、食のテキストづくりから行い、料理家、地域景観、素材、農業者、専門家などのコラボレーションによるワークショップ(2008年6月～2009年3月)
- ・北海道上士幌町食のプロモーション事業(2009年)
- ・兵庫県豊岡市「コウノトリ育む米」プロモーション事業(2009年～2010年)
- ・秋田県横手市食のプロモーション事業(2009年)
- ・香川県高松市丸亀町商店街食のプロジェクト(2010年～2011年)
- ・高知県知事直轄事業「農業人材育成創造事業総合アドバイザー」(2010～2015年)
- ・農水省「地産地消の仕事人・現地検討委員会」(2010年～2013年)
- ・香川県さぬきうまいもんプロジェクト(2011年～2013年)
- ・宮城県石巻市「食文化による地域再生プロジェクト」(2012年～2013年)
- ・神奈川県小田原市梅を使った商品開発ワークショップ(2012年)
- ・茨城県小美玉市レンコンと地域食プロモーション事業(2012年～2015年)
- ・岩手県陸前高田市食の地域振興アドバイス事業(2013年)
- ・島根県美郷町食のワークショップ(2013年)
- ・秋田県能代市ネギのプロモーション事業(2013年)
- ・福島県福島市桃を使った商品開発ワークショップ(2014年)
- ・青森県三沢市地域特産物ワークショップ(2014年)
- ・山口県長門市地域食を使った商品開発ワークショップ(2014年)
- ・岡山県奈義町食のプロモーション事業(2015年～2016年)
- ・山形県飯豊町地域農産物を使った商品開発ワークショップ(2016年)
- ・農水省「学校給食等地場食材利用拡大委員会委員」(2014年～)
- ・福井県蕎麦の東京におけるプロモーション事業(2017年～2020年)
- ・和歌山県田辺市「たなべ未来創造塾」メディアプロモーション事業(2017年～2021年)
- ・長野県下條村食のブランド化事業(2019年～2020年)

<その他特記事項>

現地でのノウハウ連携と地域経済と事業を現場で学ぶためにツアーも、これまで度々行っている。ドイツフライブルグの環境政策、フランスの「味覚ワークショップ」、イタリアのスローフード、ベトナムの農村振興など。

また国内では、福岡県遠賀郡岡垣町「グラノ24K ぶどう樹」、鹿児島県奄美諸島・徳之島、長崎県大村市「おおむら夢ファームシュシュ」など。

これらを現地で取材も進め雑誌やラジオで発表。さらに書籍にして発刊し、ノウハウの連携を行っている。

現在、ウィメンズアクションネットワーク WAN (Women's Action Network)

<https://wan.or.jp/ueno> で「金丸弘美のニッポンはおいしい！」を連載。

住生活産業総合雑誌『ハウジング・トリビューン』（創樹社）で「金丸レポート・田舎再生の現場から」を隔週連載。『味の味』（アイディア）で「地食が面白い」を隔月連載。「金丸弘美 特別寄稿・もっと先の未来への歩み」（合同出版）

を不定期連載 <https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n34930.html>。「人と地域を元気にする地産地消の給食革命」を（合同出版）で連載

https://note.com/godo_shuppan。「月刊クリネス」（一般財団法人 環境文化創造研究所）で連載。『月刊 NOSAI』（公益社団法人全国農業共済協会＝NOSAI 協会）「農と食で高める地域の力」連載を始め、ほかにもイレギュラーなど、

雑誌、新聞、WEBメディア、YouTubeなどで、毎月、地域の活動取材発信。ノウハウの連携を行っている。

関連 URL：<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/home/index.php>